

地域の足を確保するために…

# 考えてみませんか…公共交通について！

本町の公共交通は、主に路線バスによって維持されています。誰もが手軽に利用できる路線バスは、これまで町民生活を支える交通手段として運行されてきましたが、近年は、マイカーの普及などによる利用者の減少で、路線の縮小や廃止を招くなど、取り巻く環境は、年々厳しさを増しています。一方で、移動手段を持たない高齢者や児童生徒にとって、公共交通は貴重なものであり、路線の維持存続を図ることが必要不可欠になっています。

## ■路線バスの運行状況【表1】

| 路線名            | 運行事業者 | 主な運行経路             | 運行本数    |
|----------------|-------|--------------------|---------|
| 大股中井線          | 岩手県交通 | 大股中井～県立大船渡病院       | 4.5往復/日 |
| 陸前高田住田線        |       | 八日町～陸前高田駅(県立高田病院)  | 7.5往復/日 |
| 遠野住田線          | 住田交運  | 八日町～遠野駅            | 3往復/日   |
| 上有住線           |       | 八日町～上有住駅           | 5往復/日   |
| 大船渡盛岡線<br>急行路線 | 岩手県交通 | 大船渡須崎～(荷沢峠)～盛岡B S  | 2往復/日   |
|                |       | 大船渡須崎～(赤羽根峠)～盛岡B S | 3往復/日   |

本町の公共交通の現状！  
路線バス  
現在、町内においては、5つの路線バス(表1)が主要な国道沿いを運行しています。

これらの路線は、利用者も、利用者の低迷などで、赤字運行になっており、その赤字に対しては、国や県、沿線市町が補填を行っています。本町では、陸前高田住田線、遠野住田線、上有住線の3路線に赤字補填を行っています。

町独自の運行サービス  
町では、路線バスが運行されない地域などを補完するため、患者輸送バスやスクールバス、保育園への通園バスなどの運行サービスを実施しています。

これらのサービスは利用対象者を制限するなどで、無料で利用いただいているものです。このように本町では、主に路線バスと町が独自に実施する運行サービスにより、公共交通体系が維持されています。

平成20年度においては、これらを維持するために、町から約4650万円の財政負担を行っています。(表2)

## ■公共交通の維持に係る町の財政負担額(平成20年度)【表2】

| 交通体系の別 | 金額          | 備考                             |
|--------|-------------|--------------------------------|
| 路線バス   | 遠野住田線       | 運行事業者に対し遠野市と住田町で赤字補填           |
|        | 陸前高田住田線     | 運行事業者に対し岩手県と遠野市、住田町で赤字補填       |
|        | 上有住線        | 運行事業者に対し住田町が赤字補填               |
| 患者輸送バス | 5,282,000円  | 下有住、上有住の一部の町民を対象に運行            |
| スクールバス | 19,856,000円 | 大股、下有住、上有住の一部の児童生徒を対象に運行       |
| 通園バス   | 4,445,000円  | 下有住の園児を対象に運行                   |
| 通学費補助  | 2,311,050円  | 世田米の一部、五葉の児童生徒に対する路線バスの定期券購入助成 |
| 合計     | 46,584,510円 |                                |

町では昨年度から、関係各課で、公共交通の現状や課題を分析し、運行事業者と具体的な協議を重ねるなかで、今後の本

町の公共交通体系のあり方について、その見直し案のとりまとめを行ってまいりました。

## 公共交通対策座談会を各地区で開催！

12月15日から町内5カ所で公共交通対策座談会を開催しました。

この座談会は、町がとりまとめたきた、本町の公共交通体系の見直し案を説明し、広く町民から意見を聞く機会とするために開催したものです。座談会では、この見直し案について、賛成の意見が多く出され、なかでも、陸前高田住田線の路線縮小などに伴い導入を検討している町営バスに



上有住地区での座談会の様子

対しては、「通院、通学の足が確保される形での運行を」「住民の負担が重くならない料金での運行を」などの意見が出されました。

## 見直し案のポイント！

路線バスの運行  
大船渡盛岡線  
現行の荷沢峠経由1日2往復を廃止し、全便5往復/日)を赤羽根峠経由に統合するものです。  
陸前高田住田線  
八日町～川口間の運行を休止し、川口～陸前高田駅(県立高田病院)間に路線縮小するものです。

町営バスの導入  
陸前高田住田線の川口～八日町間の運行が休止の見直しとなったことから、川口～八日町～上有住駅間、八日町～遠野駅間の2つの区間に、町営バスの導入を検討するものです。

これにより、遠野住田線と上有住線の2つの路線バス、下有住と上有住の一部の町民を対象に運行していた患者輸送バスを廃止とするものです。

【町営バスの運行形態】  
通院や通学での利用を想定し、朝から夕方にかけて運行します。



乗り換え拠点に見込む「川口停留所」

過疎地有償  
運送制度の導入  
大船渡盛岡線の全便が、赤羽根峠になることで新たな公共交通空白地と

定額制の運賃により運行します。  
患者輸送バスの代替機能を果たすため、火の土新切、新田・平沢地域にも、週1・2回程度、迂回運行します。  
町営バスを利用して世田米方面に向かう場合、川口停留所で路線バス(大股中井線、陸前高田住田線)への乗り換えが必要となることから、付近に軽微な待合所を設置します。

## 皆様の意見を

今後町では、公共交通を必要とされる方が、快適に便利に利用できるよう、座談会で出された意見を集約し、運行事業者との協議などを踏まえ、本町の公共交通体系の見直し内容を確定することにしていきます。  
今回の見直し案に関する町民の皆様のご意見をお寄せください。また、現状で路線バスを利用され、不便な点などがありましたら、お知らせください。

## ◆問い合わせ

町づくり推進課  
自立推進担当  
☎ 2114  
(内線262)